

くまがわ・明日の川づくり報告会 VOL.2 8

開催地：八代市麦島校区

平成 19 年 9 月 19 日（水）、八代市麦島校区（会場：千反町一丁目地域学習センター）において、「くまがわ・明日の川づくり報告会」を実施しました。
 同報告会には、約 20 名の方々にお集まり頂き、球磨川水系河川整備基本方針の内容や小委員会等での審議の状況についてご報告いたしました。
 いただいたご意見等並びにご意見等への回答については下記のとおりです。
 なお、報告会の時に回答した内容が不十分であったところについては補足しています。

参加者数※

市内	15名
市外	2名

※参加者数は記名者数

住民の方々から頂いた主なご意見・ご質問	ご意見・ご質問への回答
<p>【河川整備基本方針の説明について】</p> <ul style="list-style-type: none"> 川辺川ダムについて、小委員会の中でも議論され、潮谷知事もいろいろな意見を言ったと新聞でも紹介されていたが、川辺川ダムについて報告会で触れられないのはなぜか。 	<ul style="list-style-type: none"> 報告会は、基本方針の内容等について地域の方々にご報告するために開催したものです。 ダムなどの具体の施設については、今後、河川整備計画を策定する際に検討していくこととなります。 一方、計画高水流量の設定にあたり洪水調節の実現可能性の検証が必要との意見があり、小委員会において、既設市房ダムと建設中の川辺川ダムを一つの例として洪水調節の実現可能性を確認していますが、この検証をもって川辺川ダムが基本方針に位置付けられたということではありません。
<ul style="list-style-type: none"> 基本方針の審議過程で川辺川ダムに触れたのは河川法に反するのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 計画高水流量の設定にあたり洪水調節の実現可能性の検証が必要との意見があり、既設市房ダムと建設中の川辺川ダムを一つの例として洪水調節の実現可能性を確認していますが、この検証をもって川辺川ダムが基本方針に位置付けられたということではありませんので、ご指摘にはあたらないものと考えています。
<ul style="list-style-type: none"> 農林センサス 2,000 年のデータが使われているが、もう 2,005 年が出ていると思うので、最近のデータを使って欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 球磨川流域の森林等の面積については、市町村合併の関係から 2005 年のデータと古い年代のデータを厳密に比較できないことから、2000 年のデータを用いてグラフを作成しているところです。
<ul style="list-style-type: none"> ピーク流量（基本高水流量）と河川で受け持つ洪水時の最大流量の差分をどこかで調節しなければいけないが、これにダムという問題が関連してくるのではないか。また、ピーク流量、最大流量、正常流量を具体的に教えて欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 人吉地点の基本高水のピーク流量 $7,000\text{m}^3/\text{s}$ と計画高水流量 $4,000\text{m}^3/\text{s}$ との差分 $3,000\text{m}^3/\text{s}$ については、ダムや遊水地等による洪水調節で対応することとなります。 具体の洪水調節施設については、今後、河川整備計画を策定する際に検討していくこととなります。 各流量の数値については、報告会配布資料（当事務所のホームページのほか、流域内の各市町村役場でも閲覧可能です）をご参照ください。
<ul style="list-style-type: none"> 横石地区の流量の説明があったが、あそこで流量が多ければ問題というのは分かるが、流量の場合はなかなかピンとこない。球磨川流域の住民には洪水が一番の心配である。洪水の場合、 	<ul style="list-style-type: none"> ある断面を 1 秒間に通過する水の量を流量と呼びますが、同じ流量が流れたとしても、川幅の凹凸などの河川の形状により、洪水が実際に流下する時の水位（水深）は異なることになりま

水位でみるのか、それとも水量でみるのか。また、危険水位については、どの地点でどの水位で危険かは平均水面をみれば分かるので問題無いと考える。

す。

治水対策においては、洪水が発生した場合、万一氾濫した際に被害が拡大することを極力小さくすること等を考慮し、その際の河川水位をできるだけ低くすることを念頭に実施しています。

なお、警戒避難等の対応は水位で判断することになるため、例えば、橋脚にはらん危険水位等の線を表示するなど、洪水時の水位情報について共有が図れるよう努めていきたいと考えています。

【球磨川の治水対策について】

・ 麦島校区では、100年に1回の大雨には耐えることのできる護岸・堤防の整備が出来上がっていると思っていえるのか。

・ 麦島地区では、計画高水流量(横石7,800m³/s)に対する堤防の整備は概ね完了していますが、100年に1回起こる想定される洪水(基本高水のピーク流量)に対応するためには、上流のダムや遊水地等による洪水調節が必要となります。具体の施設については、今後、河川整備計画を策定する際に検討していくこととなります。

・ 大潮と豪雨が重なった時に、球磨川の水面は麦島校区でどのくらい上がるのか。シミュレーションがあったら教えて欲しい。

・ 高潮の影響がある区間については、洪水の高潮も考慮して堤防整備等を行っています。球磨川では、高潮については昭和34年に日本に甚大な高潮被害をもたらした伊勢湾台風と同規模の台風が、九州本島の西側の進路を通った場合を想定し、洪水については100年に1回の大雨が降った時の洪水時に横石(八代市)地点で上流部で洪水調節が行われた後の流量(計画高水流量)7,800m³/sに相当する流量が流れてきた場合を想定して、高潮と洪水両方を満足するように河口部付近の堤防の高さを決めているところです。

洪水や高潮については、計画を上回る規模の事象が発生することはあり得るものと考えており、このため、いざという時の避難体制の整備など、ソフト面での対策について、地元八代市等と連携して取り組むことが重要と考えています。

・ 昨今の異常気象の中で、局所的な集中豪雨がある。東北でもそうである。

・ 基本方針では、旧八代市の区域では100年に1回の洪水に対応できるよう洪水対策を行うこととしていますが、ご指摘のとおり計画で想定している規模を上回る洪水や施設の整備途上での洪水の発生もあり得るものと考えており、ハード対策と併せてハザードマップ整備等のソフト対策にも重点を置き、被害の最小化に向けた取り組みを地元市町村等とも連携して実施していく必要があると考えています。

・ 球磨川流域では、洪水等の被害総額はどれくらいを見込んでいるのか。

・ 発生する洪水の規模等により被害総額は様々ですが、球磨川の想定氾濫区域内にはおよそ14万人以上の方が住まれており、ひとたび球磨川が氾濫等すると大きな被害になることが予想されます。

特に八代市では、球磨川の洪水時の水位が周辺の地盤より高い位置にあり、堤防の背後に干拓で広がった低平地が広く存在していることから、氾濫が広がりやすい地形となっており、大きな

<ul style="list-style-type: none"> ・避難勧告については基本的に国が指示し、八代市が状況を判断し避難勧告を実施すると思っているが、具体的に知りたい。 ・麦田地区に設置してある水量計が、昨年大雨で壊れたまま放置されている。必要なか。必要であればいつ整備するのか。 ・麦島地区では高潮時に偏西風・西風の影響が重なったとき、水位上昇が拡大する。 ・自主防災について、実際、洪水時に川の状況を麦島地区内 3,000 世帯にどのように伝えるのか。また、実際の堤防が決壊した際の、避難を含めたシュミレーション（訓練）を実施して欲しい。 	<p>被害が発生し得るものと考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難勧告・避難命令の発令につきましては、各市町村の判断で行われています。国土交通省では、市町村の避難の判断の参考となるよう、球磨川の水位予測等の情報を提供することとしています。 ・ご指摘の柳橋水位観測所は、平成17年9月の洪水により倒壊しましたが、球磨川下流部の水位を観測するうえで必要な観測所であることから、平成20年3月に復旧を終えました。 ・ご指摘のとおり河口付近では高潮に対する備えも重要です。球磨川では、昭和34年に日本に甚大な高潮被害をもたらした伊勢湾台風と同規模の台風が、九州本島の西側の進路を通った場合に想定される高潮に対して、安全が確保されるよう堤防を整備することとしています。 ・地域防災については基本的に各市町村で取りこんでいただくこととなりますが、国土交通省としても洪水による被害を最小限に防ぐことができるよう、例えば、市町村のハザードマップ作成への支援など避難警戒体制の一層の充実に努めて参りたいと考えています。
<p>【球磨川の環境について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前川の方は川の周辺がきれいに整備されているが、麦島地区については、対岸には遊歩道も出来ているのにこちら側には何も無い。この差は何なのか。今後の計画を知りたい。 ・麦島地区で環境巡視をやっており、麦島地区は環境に恵まれていると感じているが、その反面、堤防からのゴミのポイ捨てが目立ち見苦しい。管理面の責任として国土交通省に去年要望書を提出した。子供の頃から球磨川で過ごしてきたが、このごろ、子供のたちの川で遊ぶ姿を見ることが出来ず、魚も少ないので残念に思っている。もう少し親しみが持てる環境整備をお願いしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・河川敷等への遊歩道の整備など、具体的な河川利用にかかる整備は今後、河川整備計画を策定する際に検討していくこととなります。いただいたご意見は、その際の参考にさせていただきます。 ・川のゴミについては、河川管理者としても大変苦慮しているところです。八代市とも連携し、塵芥処理等を実施しているところですが、なかなか追いつかないのが現状です。今後とも地域の皆さんにもお手伝いいただきながら、ゴミのないきれいな球磨川を目指していきたいと考えています。 また、近年、川で遊ぶ子供の姿が減っている、魚が減っているのご意見は、多くの方々からいただいているところです。今後、川や自然に親しめるような取り組みや魚類の生息にも配慮した川づくりを行っていきたいと考えています。
<p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・球磨川の水源地標高はいくらか。 ・（球磨川流域で）雨量の測定箇所は何箇所あるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・球磨川本川の源流がある銚子笠で、標高は海拔 1,489m です。 ・47箇所あります。（国土交通省所管以外の雨量観測所も含む）

※ ご発言をそのまま掲載するのではなく、趣旨を変えない程度にまとめさせて頂いています。

※ 誹謗中傷するような発言については掲載しておりません。